優良辞典・事典あんない

辞書は最良のわが師・わが友！日本を代表する辞典・事典を紹介いたします。入学プレゼントはぜひこの中からお選びください。

※表示価格は税込です。

「物」か「機能」か？

死ぬまで辞書を使うとしたら……

金原瑞人

ぼくが最初に手にした電子辞書はセイコーインスツル（SII）の上級英語型電子辞書のモデル「SL9000」で、『リーダーズ英和辞典』、『リーダーズ・プラス』、『ジーニアス英和大辞典』、『新編英和活用大辞典』、Oxford系英英辞典類などが収録されていた。おそらく二〇〇八年以前のことだと思う。

SIIの上級者英語電子辞書はその数年前から出ていたが、その頃、主に大学生協の生協書籍部で扱うようになったらしく、法政大学の生協書籍部の知り合いから、「使ってみて、もし気に入ったら、紹介を書いてください」といって渡された。

使ってみて、驚いた。こんなにたくさんの辞書が、単4電池をふくめて二五〇グラムの電子辞書に入っているのだ。収録されている紙の辞書の総重量は十五キロから十八キロ。そんなに重い多数の辞書を手軽に、自在に使えるのだ。

それまで英和は『ランダムハウス英和大辞典』を使っていた。これが便利だった。この大辞典は、元々は四巻本で、それが二巻本になり、やがて一巻本になったのが一九九三年。そのときにすぐ買った。内容も豊富なうえに、訳語が新しい。というわけで、これは座右の書だった。まず椅子の右側に置いておいて、わからない単語が出てくると右手で持ち上げて開き、調べ終わると、左手に持って上下運動を五回してから、左側に置く。次に単語を引くときは、左手で持ち上げて開き、右手で上下運動を五回してから右側に置く。これをくり返していると、上半身は運動不足にはならない……ような気がしていた。ダンベルのかわりだ。

「SL9000」の不便なところは、これができないところだ。それに『ランダムハウス』が入っていない。にもかかわらず、この軽さと便利さは驚異だった。ただ、三キロほどのおもりをつけたかった。

それはさておき、すぐに紹介文を考えて書籍部に持っていき、いろんな宣伝に使ってもらった。

とたんに、英語の教員から非難の声が上がった。紙の辞書がいかにすぐれているかについて、何度きかされたことか。「軽ければいいのか?」と何度、糾弾されたことか。「軽薄短小」の弊害について何度、説教されたことか。

しかし、悪貨は良貨を駆逐する（?）。気がつくと、紙の辞書を持ってくる学生が激減した。教員も同じだ。

似た経験をしたのがOxford English Dictionary（オックスフォード英語大辞典、通称：OED）。ぼくが持っていたのは全十巻＋Supplements四巻。その後、この十巻と四巻が統合され、さらに新しい単語を加えて一九八九年に発行されたのが「OED　第2版（OED2）」。全二十巻。定価二十八万円前後。さすがにこれは買わなかったのだが、なんと、これがCD-ROM版で出た。これはすぐに買った。二十巻がCD一枚にまとまるのか!?所詮、文字情報はたいして容量を食わないということなのだろう。とにかく使いやすかった。

それに、文字の大きさが自由に変えられる。

となると、本棚を一段以上使っている十四巻は不要になるわけで、英語関係の知人に「送料のみで、送ります」と声をかけた。ところが、だれからも「送って!」という返事がない。え、嘘だろ! 二、三十万出して買った辞書だ。それを無料でゆずろうというのに?!

かなりして、ひとりだけ「はい、いただきます」とメールをくれた人がいて、その人に送って、本棚の一段が空いた。それから数年して、ある単語の歴史的な用法を知りたくて（CD-ROMが行方不明だった）、その人に、OEDのその部分をコピーして送ってほしいとメールしたところ、「すいません。やっぱり邪魔で、捨てちゃいました。図書館でコピーして送ります」。え!?

現在、OEDを引こうと思うと、公式オンライン版（OED Online）のサブスクリプションを使うのが一般的なのだが、かつて紙版十四巻を所有し、さらにCD-ROMをなくしてしまった者としては、いまさらオンライン版を使う気にはなれない。というか、そもそもOEDを使わずにすませるようになってしまった。便利なサイトも増えたし、AIも賢くなったし。

さて、便利なサイトで思い出したのだが、スマホやタブレットの辞書アプリの普及のおかげで、いまやもう電子辞書も時代遅れになってしまった。カシオは電子辞書の新しいモデルの開発中止を宣言した。まいったなあ。この年齢の者にとっては電子辞書が手軽で便利なのだ。なにより使い慣れている。どうしよう。そろそろ電子辞書に見切りを付けて、新しい流れに乗るべきなのか、いまのうちに電子辞書をたくさん買っておくべきなのか。死ぬまで使うとしたら、何台買っておけばいいんだろう。

しかし紙の辞書がなくなり、CD-ROMの辞書がなくなり、電子辞書がなくなりつつあるいま、そういったものが請け負っていた役割をネットなどがすべて代替するようになっていくと、やがて「辞書」というものさえなくなるのではないか。そんな気さえしてきた。

以下、ChatGPTが「この終わり方では少し弱いのではないか」といって、付け加えてくれたまとめの言葉。

【そもそも辞書とは「物」なのだろうか。それとも「機能」なのだろうか。

紙の辞書は、たしかに物だった。重さがあり、置き場所を取り、引くという身体の動きがあった。電子辞書になると、それは小さな機械になったが、まだ物ではあった。しかしオンラインやAIの時代になると、辞書はもはやどこにもない。ただ「調べられる」という機能だけが空中に漂っている。

もし辞書が機能にすぎないのだとすれば、なくなることはない。だが、あの重さや、上下に五回振った感触までもが消えてしまうのだとすれば、やはり何かは失われているのかもしれない?】（かねはら・みずひと＝翻訳家・法政大学教授）＋ChatGPT

国語

広辞苑 第七版
新村出編
3216頁・別冊付録
普通版（菊判上製）12,100円
机上版（B5判上製）18,700円
国民的な「国語＋百科」辞典の最新版。学術研究の進展や社会の変化に対応して、1万項目を増補、既収項目にも新しい意味を加えた。また基礎語の語釈や古典用例を重点的に見直し、類義語の意味の違いも明確化。
岩波書店

岩波 国語辞典 第八版
西尾実・岩淵悦太郎・永谷静夫・柏野和佳子・星野和子・丸山直子編
B6新判上製　1804頁　3,520円
初版刊行以来、累計九〇〇万部の『岩波 国語辞典』の最新版。全項目の内容・表現を改めて検討。この一〇年の日本語の移り変わりを反映させ、二二〇〇項目を新加。よりわかりやすい語釈にも力を注いだ。
岩波書店

明鏡国語辞典 第三版
北原保雄編
B6判　1922頁　2色刷り　3,300円
再編された現代文新4科目に完全準拠、唯一の高校教科書密着型辞典の大改訂版。全社の『現代の国語／言語文化／論理国語／文学国語』を網羅調査し本書にしか載っていない語句・語義を満載。評論文キーワードもいっそう強化。
大修館書店

三省堂 現代新国語辞典 第七版
小野正弘ほか編
B6判　1792頁　3,300円
時代を写す約3千5百の新語を増補、総収録項目数は約8万4千。新語義も徹底捕捉。「要するにそれは何か」がわかる、簡明な語釈が大好評。日本語のリアルを知るための新機軸満載。2色刷。大活字版　6,050円。
三省堂

三省堂国語辞典 第八版
見坊豪紀ほか編
B6判　1760頁　3,300円〈小型〉3,080円
日本で一番売れている小型国語辞典。総収録項目数約7万9千。語の本質に迫る深い思索の産物としてのシャープな語釈と、実感あふれる豊富な用例を提示。日本語の的確な使用のために最適の国語辞典。2色刷。大活字版　5,720円。
三省堂

新明解国語辞典 第八版
山田忠雄ほか編
B6判　1792頁　3,410円〈小型〉3,190円
初版刊行以来、累計約三五〇万部の「言葉に関する疑問」の数々に応え、言葉の適切な使い方と気をつけたい誤用を解説する。第三版では、新語やビジネス用語など約三千五百語が増補された。詳しい解説と、探しやすく読みやすい紙面が好評。
三省堂

大辞泉 第二版
松村明 監／小学館国語辞典編集部編
DVD-ROM付き
B5判　3968頁　上下巻　16,500円
電子辞書やweb版、各種アプリなどに採用されている本格国語辞典の第二版。メディアを賑わす時事用語から、日常で使われる身近な言葉、流行語や既存語の新しい用法まで、上下2分冊に約25万語を収録。外国語や数式も読みやすい横組み。
小学館

国語特殊

世界ことわざ比較辞典
日本ことわざ文化学会編
時田昌瑞・山口政信 監修
B6判上製　532頁　3,740円
現代日本で常用されることわざ三〇〇を通して、世界各地二五の言語と地域からことわざを集め比較するという世界初の試み。約六五〇〇の世界のことわざは日本語訳と原語で掲載。新たなことわざの世界が見えてくる。

漢字の秘密まるわかり
小山鉄郎さんに学ぶ
白川静 著
A5変　696頁　4,180円
なぜ「狂」に「王」があるの？　なぜ「然」に「犬」があるの？　なぜ「暗」に「音」があるの？　古代文字学研究で文化勲章受章の泰斗が教えてくれた漢字の秘密。古代文字が読み解きやすいイラストと漢字の体系がわかる全索引付き。
論創社

漢字辞典の謎
なぜ似ている白川静『字統』と諸橋轍次『広漢和辞典』
小山鉄郎 著
四六上製　216頁　2,420円
『大漢和辞典』で知られる諸橋轍次が最晩年に著した『広漢和辞典』には、白川静の考えとよく似た漢字解釈がある。白川静の字書『字統』の「まえがき」に残された『広漢和辞典』への激しい批判。その意味が白川静没後20年の年に初めて明らかになる。
論創社

［例解］現代レトリック事典
瀬戸賢一・宮畑一範・小倉雅明編著
A5判　612頁　8,800円
トートロジー、倒置法、逆説法、パロディ！……72のレトリックの技法を手がかりに多彩な言語表現のありようを解明する。文学、ノンフィクション、漫画など実例豊富で、実践的文章作成にも役立つ。図解・写真・イラスト等多数掲載。
大修館書店

絶賛語辞典
関根健一 著　大修館書店編集部編
四六判　256頁　1,980円
「褒め言葉」の語彙を増やす辞典。例えば「うまい」→「鮮やか・お手の物・妙技…」といった具合に、2千語以上を例文付きで紹介。注意したい言葉の使い方やニュアンスも解説し、相手にしっかり伝わる言葉選びをサポートする。
大修館書店

日本語文型辞典 改訂版
グループ・ジャマシイ（代表：砂川有里子）編
A5判　620頁　3,630円
シリーズ累計50万部突破の日本語教育のベストセラー辞典が25年ぶりに改訂。国語辞典では調べにくい日本語の文型とその意味がこの一冊に。多くの項目と、詳細な解説、豊富な用例で、日本語教師・学習者を中心に広く支持され続けている。
くろしお出版

埼玉県東南部方言辞典
原田伊佐男 著
B5判　300頁　7,700円
戦前から高度成長期に使用されていた、激しい共通語化にさらされる以前の埼玉県東南部方言の語彙と語法を、できるだけ正確に記述した。消滅寸前の方言の貴重な記録。音声（音韻・アクセント）、文法項目（品詞・活用）、語源にも配慮。
くろしお出版

敬語の事典
荻野綱男 編
A5判　704頁　16,500円
敬語の基本的な体系を丁寧に解説しつつ、さらに視野を広げて敬語の多様性にも着目。日本語学を中心に、対照言語学、社会言語学の側面から、幅広く多言語の敬語についても記述。周辺分野との関連も含め、敬語の総合的理解を得られる事典。
朝倉書店

古語

新全訳古語辞典
林巨樹・安藤千鶴子編
B6判　1232頁　2色刷り　2,310円
アイコンや図解を多用したビジュアルな紙面が特徴的。用例は教科書教材が中心で、全て現代語訳付き。百人一首事典などの付録も充実。約一万七千六百項目収録。古文学習に必要なすべての要素を盛り込んだ画期的古語辞典。
大修館書店

古語

三省堂 全訳読解古語辞典 第五版
鈴木一雄・小池清治編者代表ほか編
B6判　1488頁　3,080円〈小型〉2,310円
全国の高校で幅広く採用・推薦されている全訳古語辞典の最新版。古文常識を学べるコラム数は類書中最多の約580。「現代とのつながり」や古語辞典で初の「逆引き活用形索引」を新設し、古典学習のサポート機能を多数強化。2色刷。
三省堂

百科・その他

世界の暦文化事典 普及版
中牧弘允編
A5判　462頁　6,380円
お求めやすい価格で新登場。素朴な疑問から地元とコミュニケーションをとりたい研究者まで、各地の暦と暦にかかわる文化（記念日・お祭り）をその成り立ちから紹介。数々の暦の共存を解き明かすとともに、各地のトピックを取り上げる。
丸善出版

世界の文字事典 普及版
庄司博史編
A5判　450頁　6,380円
お求めやすい価格で新登場。ドイツ語、ロシア語、アラビア文字など、世界の公用語をほぼ網羅し、現地での読み方を紹介する事典。旅行、ビジネスに、また人名や地名をカタカナ表示したい時、名前を正しく発音したい時などに活用できる。
丸善出版

世界の公用語事典 普及版
庄司博史編
A5判　430頁　6,380円
お求めやすい価格で新登場。公用語、準公用語、地域語をアルファベットで書く方法を、基本的な文法、発音などの情報とともに紹介。例文を豊富に掲載し、ことばを知りたい、あるいは世界各地の人びとと交流をしたい方へお薦めの一冊。
丸善出版

現代数理科学事典 第2版 分冊普及版 全8巻
広中平祐 編集委員会代表
B5判　142～276頁　3,300～4,950円
数理科学の基礎から最前線までを網羅して好評を博した『第2版　現代数理科学事典』（2009年刊行）を分冊化。コンピュータの普及とともに、あらゆる分野に役割を拡大する数理科学の諸相を、最先端の研究者が分かりやすくまとめる。
丸善出版

統計科学百科事典 分野別普及版 全9巻
日本統計学会 訳
B5判　216～284頁　各巻7,480円
あらゆる学問分野における統計概念、重要用語、統計的分析手法を網羅する百科事典が、分野別の分冊で再登場。世界中の研究者600名超による、信頼性の高い情報を凝縮した解説文を、興味ある分野から読むことができる。
丸善出版

カナダ文化事典
カナダ文化事典編集委員会 編
A5判　606頁　27,500円
「二言語・多文化主義」で、移民を含めてこの地に暮らすすべての人々と共存しようと意識的に歩みを進めてきたカナダ。文化こそが国を形づくる政策でもあったカナダの人々の営みを、10の分野に分け、200を超えるテーマから解説する。
丸善出版

妖精事典 新装版
キャサリン・ブリッグズ編著
平野敬一・井村君江・吉田新一・三宅忠明訳
A5判　642頁　6,600円
妖精研究では他の追随を許さないキャサリン・ブリッグズ女史の原書を四人の碩学が翻訳したユニークな事典。ケルト圏を含むイギリス諸島および西欧の文学・民話に登場する妖精を集大成。見えない世界へのガイドブック。
冨山房

ケンブリッジ英語百科事典
デイヴィッド クリスタル 著／中島平三・田子内健介 監修
A4判　672頁　29,700円
David Crystal, The Cambridge Encyclopedia of English Language, 3rd ed., 2018の全訳。コラム多数、ビジュアル豊かな構成で英語の歴史・構造・文化を総覧する。
朝倉書店

日本映画作品大事典
山根貞男 編
B5判　1072頁　47,300円
百年を超える日本映画史を一望に見渡す、空前の作品データベース。収録した監督数は約1千3百、映画作品数は約1万9千5百。綿密な調査で従来流布されてきた情報をできる限り校訂した、信頼のおける基礎資料。監督別に作品を収録。
三省堂

人名・地名

外国人名よみ方字典 最新アルファベットから引く
日外アソシエーツ編
A5判　1030頁　4,950円
外国人の姓や名のアルファベット表記から、よみ方を確認できる字典。実在の人名に基づき、17万のアルファベット見出しに、26万のカナ表記を収載。非英語圏の人名を大幅増補し、収録数は前版の1.3倍超。よみ方の実例を一覧できる。
日外アソシエーツ

外国人名綴り方字典 最新カタカナから引く
日外アソシエーツ編
A5判　1050頁　8,800円
外国人の姓や名のカタカナ表記からアルファベット表記を確認できる字典。実在する外国人名に基づき、20万のカタカナ見出しに、26万のアルファベット表記を収載。収録数は前版の1.3倍超。外国人の綴りを一覧でき〝よくある綴り〟もわかる。
日外アソシエーツ

大日本地名辞書 全8巻
吉田東伍著
B5判　各巻平均978頁　各22,000円
本書は、わが国全土の国郡・山川・湖沼・港湾・崎岬・城市・郷邑・社寺・名勝旧跡並びに産業・教育・民俗・芸能にわたって、地名の考証、変遷興廃のあとを詳しく解説した総合大地誌である。さらに千島・琉球・樺太・台湾をも収めている。
冨山房

哲学・宗教

法哲学事典
法哲学事典編集委員会 編
A5判　538頁　27,500円
定評ある仏教辞典の最新版。全項目の記述を見直して刷新するとともに、近現代に重点をおいて約二〇〇項目を増補。仏教用語や経典・人名・寺名項目のほか、文学・美術など関連分野にも目を配る。総項目数約五〇〇〇。
丸善出版

仏教辞典 第三版
中村元・福永光司・田村芳朗・今野達・末木文美士編
四六判上製　1312頁　9,900円
法と呼ばれる社会制度に対して、原理的な問題にまで遡って考察を行う「法哲学」。本書では歴史的な背景を振り返りつつ、法哲学の発展に即してさまざまな概念を見開き2ページ完結で解説。全195項目を収録した。
岩波書店